

■ 国語学の権威

湯澤 幸吉郎

ゆざわ こうきちろう

出身地 秋田市

1887年（明治20年）～1963年（昭和38年）

自己の国文法体系を確立し、その揺るぎない基盤の上^{きばん}に立^ゆって、室町時代以降現代までの近代日本語の発生発展の過程^{はってん}を明らかにした。著書に『徳川時代言語の研究』『現代語法の諸問題』などある。



年譜

- 1887年 秋田市に生まれる。
- 1910年 東京高等師範学校卒業。
- 1915年 東京帝国大学文科大学選科修了。文部省嘱託。
- 1929年 『室町時代言語の研究』を刊行。
- 1942年 文部省図書監修官。
- 1949年 早稲田大学文学部教授。
- 1954年 『江戸言葉の研究』を刊行。
- 1955年 文学博士となる。
- 1956年 日本学士院賞受賞。
- 1963年 東京都で没。75歳。